

レポートの書き方指導のための学生レポート論理構造可視化システムの構築（研究の進捗発表（シニア（大学4年生以上）, 概要講演あり, 新規発表））

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-08-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 柳瀬, 翔, 野口, 靖浩 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/00028312

レポートの書き方指導のための学生レポート論理構造可視化システムの構築

柳瀬翔（静岡大学大学院総合科学技術研究科情報学専攻）、
野口靖浩（静岡大学大学院情報学領域）

一般に、大学教育の現場におけるレポートの評価では、教師が学生のレポートに対してフィードバックを与えることで、学生にレポートを改善させることや、次に提出するレポートの質を向上させる活動を行っている。この活動において教師は、レポート中の文章の論理構造から、主張が不足していることや、主張に対する根拠が不足していること、論証の流れの曖昧さがあることなどを指摘する。しかし1人の教師が担当する学生は多く、活動にかかるコストは大きなものになり、学生がレポートを提出してからフィードバックを受けるまでのタイムラグが生じる。

本研究は学生の提出したレポート文章中の論理構造を自動的に可視化することにより、前述の活動を促進することを目的としている。論証マイングの技術を応用し、文を「主張」「根拠」に分類し、更にヒューリスティックな生成ルールにより文間の関係进行分析し、最後に論理構造の可視化を行うシステムを試作した。